



# 門高通信

～平成 29 年度第 2 号～

石川県立門前高等学校

〒927-2193 石川県輪島市門前町広岡 5 の 3

TEL:0768-42-1161 FAX:0768-42-0009

ホームページ: <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~monzeh/>

メールアドレス: [monzeh@m1.ishikawa-c.ed.jp](mailto:monzeh@m1.ishikawa-c.ed.jp)

## 中高合同体カテスト

5月12日に中高合同体カテストが実施され、“力強さ”や“柔らかさ”など運動に必要な力を各種目の測定を通して確かめました。当日は門前中学校の生徒も加わり、どの種目においても自分の最大限の力を出し切ろうとする姿を多く見ることができました。自分だけでなく友達のチャレンジに対して大きな声援を送ったり拍手したりする素敵な場面もありましたね。一番辛かったであろう持久走において、そのような仲間が存在が大きな力になったという人もいることでしょう。また、2・3年生は、ぜひ去年の自分の姿と比べてみてください。記録が上がることも大事ですが、取り組み方にも伸びを感じてほしいと思います。強い体と優しい心。双方を兼ねそろえた門校生として、今後もより意欲的に、仲間と共に、チャレンジして力を付けていきましょう。



## ゴミゼロ運動への参加

4月27日(水)に輪島市ゴミゼロ運動が行われ本校の生徒会執行部生徒が参加しました。



(二年 塗師 和佳奈・長谷川 璃奈 門前中学出身)

大切だと感じたことは「思いやる」ということ。看護師さんは、どのような行動をするにしても、思いやりをもって患者さんと接していて、それが患者さんの恐怖心を和らげ、心のケアにつながっていると感じました。参加してよかったです。

## 参加した感想



五月九日(火)、看護師を志望している生徒二名が、穴水総合病院での「ふれあい看護体験」に参加しました。介助のお手伝いなど、看護師の実際の仕事に触れることで、看護への理解を深めるとともに、看護師になりたいという思いを強くしていました。

## ふれあい看護体験

# 総体に向けて、各部からの意気込み！

## バスケットボール部



男子バスケットボール部は、二年生八人、一年生六人の計十四人で、羽部先生、吉田先生、霊崎先生のご指導の下で果敢に活動しています。

男子バスケットボール部では、十四人の「チームワーク」と一試合を走り続けることができ、戦い続けることができ「忍耐力」を最も重視して活動をしています。日頃の練習では三種類A、B、Cメニューを常に使い分け、その時の課題と状況に応じて練習メニューを部員が主体となってマネージメントしています。

今回の総体では、悲願の勝利を目指すことは言うまでもありませんが、三年生にとって最後の大会行事となるため、しっかりとした戦略を練りつつ、試合内容で悔いの残らないように全力を尽くすことをここに誓います。

3年 谷内田 篤樹(門前中学出身)



## ソフトボール部



チームの一人ひとりが、自分の果たすべき役割を自覚し、「チームのために絶対にやり遂げる！」という強い意志をもって挑みます。教えていただいたこと、支えていただいたことを決して当たり前と思わず、私たちが全力で戦い抜く姿で感謝の気持ちを伝えたいです。

3年 篠原 陸希(森本中学出身)

## 卓球部



僕たち卓球部は、六月一日(木)から四日(日)に七尾総合市民体育館で行われる大会に出場し、団体・ダブルス・シングルの試合をしてきます。

この大会で良い結果を残すために、みんな頑張ってきました。悔いの残らないように全力で大会に挑んでいきます。

3年 横山 拓海(門前中学出身)

## 男女ソフトテニス部



ソフトテニス部は男子十一名、女子二名で活動しています。人数が少なく、女子は個人戦のみの参加になりますが、一生懸命練習しています。

男子ソフトテニス部の総体の目標は二つあります。

まず団体戦では、新人大会で果たせなかった一回戦突破です。新人大会では勝てる試合を落としましたので、今度こそ勝ちたいと思います。次に個人戦では、昨年一ペアしか参加できなかったベスト三十二までしか残れない二日目に、今年は全ペア参加することです。女子ソフトテニス部の目標はペアで協力して一勝を挙げることです。今までやってきた練習の成果をしっかりと発揮し、六月一日〜三日の総体で結果を出してきます。応援よろしくお祈りします。

3年 佐伯 龍都(輪島中学出身)

3年 山下 紗季(門前中学出身)

## 6月行事予定



- 1~4日 総体・総文
- 7日 県高P連年次総会
- 9日 進路講演会
- 10日 PTA連合会総会
- 10~11日 進研マーク模試
- 12日 薬物乱用防止教室
- 13日 高文連文化教室
- 17~18日 北信越大会
- 20日 遠足(一・三年生)
- 20~23日 修学旅行(二年生)

## 五月晴れ

校長 大窪 直二

『五月晴れ』とは、本来は梅雨の晴れ間をさす言葉ですが、一般的には五月の爽やかな青空を連想させます。風薫り、新緑が輝き、田植の済んだ水田と空にたなびく鯉のぼりです。そして、五月の青空にはスポーツをする若者の姿、特に弾ける笑顔と仲間を応援する歓声が良く似合います。

先日も五月晴れのもと、門前高校グラウンドで、門前中と門前高の中高一貫教育の一つとして、合同の体力テストが実施されました。

その中で、自分の記録更新を知り、飛び上がって喜ぶ姿や仲間の長距離走を必死に応援する姿など他では見ることが少なくなった光景をたくさん見ることができました。中には短距離走の自分の記録に納得できず何本も挑戦する微笑ましい姿もありました。

中・高校生ともに、今の自分の限界に挑戦しようとする前向きな姿勢であり、何事にも手を抜かない一途な姿に感動と地域の教育レベルの高さを実感しました。この両校の生徒たちには、五月の青空がたいへん良く似合いました。